



# 黎明

～一般社団法人 日本PVプランナー協会会報誌～ Vol.29 2023新春号

## 一般社団法人 日本PVプランナー協会 理念

私たちは、PV プランナー・PV システムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には

- 1、私たちは「地球環境問題」の解決に取り組めます。
- 1、「販売」は、コンプライアンスを遵守します。
- 1、「商材説明」は、お客様に正しい知識と情報を提供します。
- 1、「施工」は、安全を第一に考え、お客様の家屋を守りながら、適正な発電が行えるよう努力します。
- 1、「アフターサービス」は、お客様のニーズに応え、素早い対応を心がけます。

以上を行い、私たち・お客様・地球が共に繁栄する「豊かな未来創り」に貢献します。

## ホームページ「重要情報ピックアップ」バナー掲載の知らせ

当会のホームページに「重要情報ピックアップ」バナーを掲載しました。協会パンフレット掲載から始まり、会員にとって重要な情報を継続的に掲載してまいります。まずは「省エネ改正法」と「太陽光パネル出力増加の検討」を追いかけて行きます。



## 事務局だより

20年ほど前に招き猫を集めていた時期がある。一時は50～60点を数えるほどになったが、飾りきれずに今ではその多くが倉庫で静かに眠り猫となっている。

招き猫の起源は、江戸時代に江戸の町人文化から誕生したといわれている。上げている手の左右によって御利益が異なる。左手を上げている猫は「人」を、右手を上げているのは「お金」を招く。両手を上げている猫は、人、お金の両方を招くといわれているが、欲張り過ぎということで敬遠する人も多いらしい。

私が集めていた中で特に印象的な猫は、背面に「〇にメ」の字が入った招き猫のルーツといわれる浅草・今戸焼の「丸メ猫」で、「金銭や

福德を丸く勢メると」という縁起をかついだ粋な招き猫なのである。

これまでにたくさんの招き猫を集めてはみたが、きっと欲張り過ぎたのかもしれない。いまだにお金が貯まる気配は一向にない(T\_T)。ただ人に恵まれてきたことを思うと御利益があったということなのかもしれない!(^^)!。2023年が幸多き年になりますように。(霞谷)



お問い合わせは…



## 一般社団法人 日本PVプランナー協会

〒102-0084  
東京都千代田区二番町3番地10  
白揚ビル2階  
TEL: 03-6256-9970 / FAX: 03-6256-9971  
Web <https://pv-planner.or.jp>  
Mail [support@pv-planner.or.jp](mailto:support@pv-planner.or.jp)

制作・編集: 株式会社電設出版

## Contents

### ・特集/第10回全国会員大会

- ・理事長挨拶・2022年度運営方針
- ・表彰式・ご来賓挨拶・協力団体講演
- 法人設立10周年記念式典
- ・歴代理事長挨拶・ご来賓挨拶
- ・会員企業実例報告・閉会挨拶

- ・定時代議員総会任期改選理事
- ・エリアマネージャー抱負を語る
- ・地区会レポート/中部地区

## 新年のご挨拶

一般社団法人日本PVプランナー協会 理事長 石丸貴樹

謹んで新春の祝詞を申し上げます。脱炭素社会への動きはますます活発化しております。エネルギーコストが上昇し続ける現状を目の当たりにし、各方面での脱炭素社会に対する意識が明らかに高まっており、積極的な問い合わせが増加している現状です。

2030年の導入目標量の達成にはPPAの拡大やVPPといった新たな市場開拓も必要となります。また、既設物件のO&Mによる長期安全設備や長期寿命化、リパリングによる発電量の強化やセカンダリー案件も重要事項です。絶対に止めることのできない再生可能エネルギーの加速的導入は必須であり、電力インフラの強化



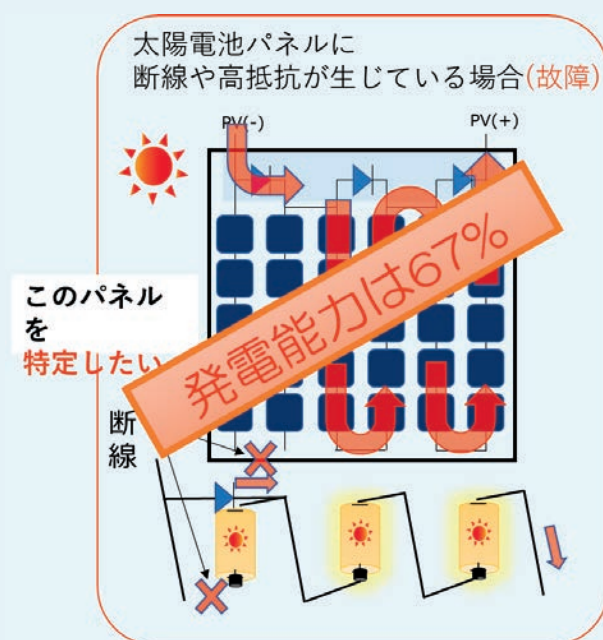
も早急に整える必要があります。

また、電力の安定供給には欠かせない蓄電池も大きな期待がされています。特に夏と冬に起こる電力逼迫や自然災害時のレジリエンスにおいても太陽光発電との相性が非常にいいものです。さらには、V2Xの普及も今後加速していくことが伺えるため、そのためのインフラ市場に大きな期待が高まります。

当協会はこれからのエネルギー環境を的確に捉え、会員の皆様にしつかりと伝えていく義務があります。われわれの使命はお客様が求めるものはもとより、お客様のためになるものをしっかりと提案することです。そのためには確実な情報と知識を身につけなければなりません。気を引き締めて前進し続けてまいります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



# 最小限の労力で パネルを 無償交換する方法

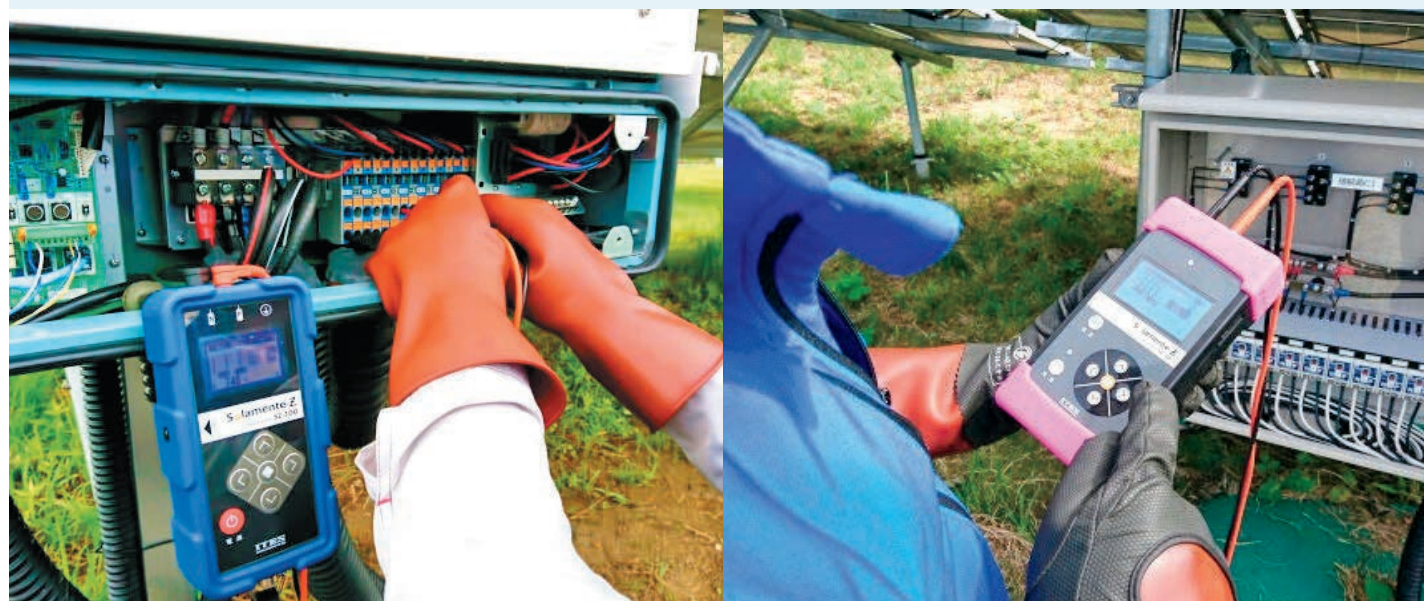


## Solamente

太陽光パネルのメンテナンスツールは ソラメンテ

お問い合わせ TEL. 03-3255-8035  
東洋計測器株式会社 FAX. 03-3255-8076  
〒101-0021 東京都千代田区外神田1-3-12 計測器ランドビル  
URL: <https://www.keisokuki-land.co.jp/>

株式会社 アイテス  
〒520-2151 滋賀県大津市栗林町1番60号  
製品開発 TEL.077-599-5040 FAX.077-544-7712  
URL: <https://www.solamente.biz/> e-mail: [sales02@ites.co.jp](mailto:sales02@ites.co.jp)



# 「第10回全国会員大会」 「法人設立10周年式典」開催

2022年11月25日、「第10回全国会員大会」「法人設立10周年式典」が東京・原宿の東郷記念館で開催されました。会員大会は3年ぶりの大規模な開催となりました。「法人設立10周年記念式典」は協会員のみなさまをはじめ多くの関係者の方々にご出席いただき大盛況となりました。

## 理事長挨拶

## 太陽光業界の成長のために邁進し続ける

一般社団法人日本 PV プランナー協会

理事長 石丸貴樹



私個人が太陽光発電事業を始めてから20年。当初は手探りの状態でしたが、数年かけてなんとか軌道に乗り、知識ややり方を結集しようと仲間数社とフォトボルテックという法人を立ち上げました。その後、日本PVプランナー育成協会と名前を変え、いまから10年前に非営利法人一般社団法人日本PVプランナー協会が産声をあげました。

まだまだ太陽光業界は道半ば、これからも成長し続ける事業です。それにともない当協会も成長し続けなければいけません。努力を惜しむことなく邁進していくつもりです。それを実現させるためには皆様のご協力が必要です。なにとぞ今後ともご支援よろしくお願い致します。

## 2022年度運営方針

## 次の世代に豊かな未来を届けたい

一般社団法人日本 PV プランナー協会

専務理事 馬上丈司



「日本PVプランナー協会は太陽光発電の普及を通じて脱炭素化社会の実現に貢献すること」を宣言します。わが国が目指す2050年の脱炭素化社会に向け、太陽光発電が最も大きなポテンシャルを有していると認識しています。

今後の行動方針は以下の通りです。①社会のあらゆる場面における太陽光発電導入の積極的提案。②脱炭素先行地域における太陽光発電を活用した再生可能エネルギー導入の支援。③太陽光発電設備の適切な維持管理を通じた安定的な電力供給の実現。④地域の再生可能エネルギー事業を担う事業者や人材の育成。

太陽光発電で次の世代に豊かな未来を届けたいと思って活動していきます。



## 表彰式

### 最優秀会員賞



(株)住まいるサポート  
(中国・四国エリア会員)  
牧野利政氏  
※お仕事の都合で来場できず  
メッセージをいただきました。

最優秀会員賞は各地区会表彰者の中から特に地区会活動への貢献が著しかった協会員を表彰

### 安全スローガン最優秀賞



相和電気工業(株)  
(近畿・北陸エリア会員)  
萩原峻祐氏 (代理：青木氏)

2022年度 安全スローガン  
「忘れるな 変わる環境  
変わらぬ基本」



## ご来賓挨拶

### まじめにビジネスができる環境を作る

経済産業省 資源エネルギー庁  
新エネルギー課 課長補佐  
田村富昭氏

太陽光発電は再生可能エネルギーの中核として重要な位置を占めて発展してきました。一方、景観や廃棄等の問題を含め、地域との共存が求められています。太陽光発電ビジネスにおける計画・運転・廃棄の各段階においてとりまとめた事業規律を作り、まじめに事業に取り組んでいる方がまじめにビジネスができる環境を作ることがわれわれの仕事だと思っています。

一方、稼働している太陽光発電を長期化運転させ



る施策も大切です。経済産業省では皆様がよりよいビジネスができるよう制度設計をしていきたいと考えています。

### 脱炭素先行地域を創出する

環境省 地球環境局  
地球温暖化対策課 課長補佐(統括)  
泉 勇氣氏

環境保護政策はわが国の経済成長のエンジンととらえることもできます。環境省の取り組みをご紹介したいと思います。

地域のカーボンニュートラルは同時に地域が豊かになることを目指します。全国に先駆けて脱炭素先行地域を創出し、支援をしています。また民間会社からの投資を促進する仕組み作りにも取り組んでいます。自治体や公共団体をはじめ企業などに自家消費型太陽光発電設備を導入することも支援させていた



だいております。

皆様との連携を大切にして太陽光発電の発展に尽力していきたいと考えています。

### 再生可能エネルギーがカギとなる

農林水産省 大臣官房  
環境バイオマス政策課  
再生可能エネルギー室 室長  
西尾利哉氏

脱炭素の流れは速く、しかも大きいものです。農業地域で「地球環境のために」といってもなかなか心に響きません。また、農地は先人の知恵の元、ちょうどいいバランスを保って成り立っています。ここにソーラーシェアリングのような新しい装置を持ち込む時、必要なのは皆さんのさらなる知恵です。地域に感謝されるような装置を作って欲しい。再生可



能エネルギーがそのカギとなります。

農林水産省は門戸を開いています。ぜひ、お声をお聞かせください。

### 協会員専用保険表彰

(株)インシュアランスサービスと共催による表彰  
当協会 石丸理事長とインシュアランスサービス清水社長より授与

#### 太陽光発電所の総合リスク削減貢献賞



(株)ダイキアクシス・サステナブル・パワー  
(株)サンエイエコホーム(旧)  
(関東エリア会員)  
武中進氏

#### 太陽光発電所の適正な持続貢献賞



(株)エコロステーション  
(中国・四国エリア会員)  
棕木秀典氏

#### 太陽光発電所の長期リスク削減貢献賞

(株)MGプラン  
(中部エリア会員)  
渡邊正和氏  
※お仕事の都合でご欠席

(株)インシュアランスサービス  
代表取締役社長 清水氏





## 協力団体講演Ⅰ

## 小さな協会の大きな思い～O&amp;Mからリパワリングへ～

## (一社) 太陽光発電メンテナンス協会

## 代表理事 吉村長治氏

当協会の使命は「太陽光発電事業所の安全・安心を守る」「事業維持＝想定発電量の長期維持とリスクの最小化」「地域に愛される太陽光発電で脱炭素社会に貢献する」です。

これに基づき、活動方針は「総合O&Mで点検データを解析し、システムの適正化を提案」「総合O&Mで機器の修繕・リパワリング等、周辺業務の受注を促進する」「会員の技術交流、情報交換を行い関係性を強化する」としました。

FIT後10年が経ち、O&Mの義務化が制定されました。太陽光発電のライフサイクルは建設、運用、撤去です。運用を適正化するO&Mはますます重要となってきます。

また、O&Mから派生する事業にリパワリング（発電性能の向上＝収益性を向上）があります。リパワリング事業はこれから有望な分野だと思っています。



す。パワコンの寿命はおおよそ10年で、そろそろ交換の時期です。太陽光パネルも発電効率が落ちてゆきます。当協会ではリパワリングを通じて健全な太陽光発電設備を増やし、再生可能エネルギーの主力電源化の一翼になれるよう活動していきたいと思っています。

## 協力団体講演Ⅱ

## 自治体との連携について

## (一社) 中部ソーラーシェアリング

## やろまい会

## 代表理事 北井久美絵氏

当会は2022年1月に設立しました。「未来の子供たちへつなぐ地域に根ざすソーラーシェアリングを普及するため」活動しています。きっかけは日本PVプランナー協会様が開催したソーラーシェアリングのセミナーでした。

まずはソーラーシェアリングを知っていただく、ということを目的に当会主催のセミナーを開催しました。農地は守っていかなければいけない、外敵は排除しなければいけないと考える方もいます。そのような方たちと地道に話をしてきました。太陽光発電に対する感情的なアレルギー反応や縦割り行政による情報共有の難しさ、「推進」という言葉への拒否反応、議員さんたちとのコネクションづくりの難しさなど、さまざまな壁の連続です。そのような中でも、当会会員で情報を共有して、成功例を蓄積できたのが、よかった点だと思います。

このような状況の突破口をいくつかご紹介いたします。アプローチ先を多くし、角度変えた切り口で提



案すると効果があります。担当者さんは反対の立場ではなく、ソーラーシェアリングを知らないだけかもしれないので、粘り強く情報を提供します。再生可能エネルギーの重要性は理解されているので賛成にまわってくれるかもしれません。また、各自治体さんはそれぞれ困りごとをかかえているので、協力で提案できることから始めるのもよいと思います。

現実に電気料金が高騰しています。再生可能エネルギーを速やかに最大限導入する必要があります。ソーラーシェアリングは農業を持続可能とし、再生可能エネルギーの可能性を高めると信じています。

## 法人設立10周年式典

## 歴代理事長挨拶

## 初代 理事長 竹内政隆

一般社団法人となった当時、まず地区会をやりたいという思いがあり、各地に地区会を作りました。当時、真面目に真剣に議論したことを思い出します。事務局の方がたいへん頑張ってくれたと記憶しております。ありがとうございました。



## 二代 理事長 林 浩司

当時、太陽光発電を大きなうねりとしていたと思っていました。大阪から関東に移転したことにより、行政とつながりやすくなり、当協会も一層発展致しました。また、太陽エネルギー学会の太和田様に監事になっていただいたのも大きな出来事でした。これからも信頼される団体としてさらに進んでいきたいと考えています。



## 三代 理事長 池田真樹（代読）

正しい情報発信をしていきたい思いから、多くのセミナーを行ってきました。これからも継続してほしいと思っています。また、太陽光発電を売る、施工する、だけではなく、顧客に対して総合的な提案ができることがこれからは大事だと感じています。

## 四代 現理事長 石丸貴樹

あっという間の10年でした。法人化してやっと社会に認められたと感じた記憶があります。しかし、まだまだ勉強不足、力不足です。皆様のお力を貸していただき、前に進めるのだと思います。太陽光発電は多様化してきました。あれもこれもではなく、ひとつに絞って邁進していくのがよいと思います。これからも当協会をよろしくお願い致します。



## ご来賓挨拶

(一社) 日本太陽エネルギー学会  
名誉会長 太和田善久氏

設立から3年ほど経ったころ林理事長から監事としての協力の依頼がきました。存じ上げない団体だったので躊躇したのですが、林理事長の人柄を信頼し、当協会にご協力させていただくことにしました。今では太陽光発電の安心・安全を実現するため邁進する社会に認められる協会になりました。

現在の日本には太陽光パネルを並べる平地が少なくなってきており、設置に工夫や知恵が必要となります。これからますます当協会の役割の重要性が増す時代となると思います。





## 法人設立10周年式典

東郷記念館、天翔の間にて



乾杯挨拶  
(株)資源総合システム  
一木社長



パネル展示（黎明期 2012～2013年）



パネル展示（2013年～現在）

## 法人設立10周年式典



ソーラーシェアリング作物  
(そば、お米、さつまいも、干芋、  
イチジクジャム、里芋)の展示

ソーラーシェアリングで収穫した作物を展示しました。一部、  
宴席の料理として皆様に召し上がっていただきました。



多くの方に参加いただき、よい情報交換の場となりました。



## 会員企業実例報告①

(株)ジーサービス (中部エリア会員)  
専務取締役 新城弘志氏

弊社は施工店です。足場職人に太陽光発電設置の教育をしつたりしていました。最近では自家消費に目を向け、蓄電の方法など研究を重ね、ビルダーに提案をして仕事を広げていきたいと考えています。

60歳になっても職人の働き場を提供できる「職人の働き方改革の会社」となるよう日々努力しております。



## 閉会挨拶

(一社) 日本 PV プランナー協会  
副理事長 森上寿生

近年の第1回の産業革命はIT革命です。太陽光発電は第2の産業革命といえるのではないのでしょうか。われわれは今、その革命の当事者なのです。皆様に認識していただければと思います。

本日は(一社)日本PVプランナー協会設立10周年記念式典にお越しいただき、ありがとうございます。



## 会員企業実例報告②

(株)ダイキアクシス・サステイナブル・パワー  
(株)サンエイエコホーム(旧)  
(関東エリア会員)  
取締役 武中進氏

省エネ法の改正・再エネ導入目標の設定の義務化により12,000社が太陽光発電設備の需要家となっています。金融機関と組んで発電所の建設に取り組んでみてはいかがでしょうか。銀行はお金はあるものの、需要家開拓のノウハウや太陽光発電設備の建設やメンテナンスのノウハウはありません。チャレンジしてみてください。



## 集合写真



東日本エリア集合写真

## エリアマネージャーコメント

6名のエリアマネージャーより各エリアの今後の抱負やエリア紹介を行いました。



左より 原(九州)、椋木(中国・四国)、米川(近畿・北陸)、恩田(中部)、岸田(関東)、佐々木(東北) エリアマネージャー



西日本エリア集合写真



# 2022年10月21日定時代議員総会にて 新しい理事・監事ならびに三役他が 承認されました

2022年度～2023年度（任期：2022年10月～2024年10月）

## 理事長

(株)イーステージ  
専務取締役  
石丸 貴樹



## 名誉会長・理事

(株)林電機商会  
代表取締役  
林 浩司



## 副理事長

(有)ヤマモト運送  
専務取締役  
山元 広大



## 副理事長

エナジー・  
ソリューションズ(株)  
代表取締役社長  
森上 寿生



## 専務理事

千葉エコ・  
エネルギー(株)  
代表取締役  
馬上 丈司



## 常務理事・事務局長

プラントウ  
コーポレーション  
代表  
大槻 浩之



## 理事

(株)横浜環境デザイン  
代表取締役社長  
池田 真樹



## 理事

重機商工(株)  
常務取締役  
城所 博



## 理事

(有)ボデーワークス  
取締役  
西口 豪昭



## 理事

(株)ダイキアクシス・  
サステイナブル・  
パワー  
(株)サンエイエコホーム(旧)  
取締役  
武中 進



## 理事

未来環境エネルギー  
計画(株)  
代表取締役  
吉村 長治



## 理事

(株)RE-INNOVATIONS  
代表取締役  
岸田 隼人



## 監事

(一社)日本太陽  
エネルギー学会  
名誉会長  
太陽光発電技術研究  
組合 専務理事  
太和田 善久



## 監事

(株)戸上電機製作所  
マネージャー  
吉富 行雄



## 名誉顧問

(株)タデック  
代表取締役  
竹内 政隆



## 顧問 (EMA講師)

Wawa企画  
代表  
古川 幸司



## EMA認定センター長

(株)舟山コンサル  
ティンググループ  
代表取締役社長  
舟山 大器





# エリアマネージャー抱負を語る

2022年度～2024年度（任期：2022年9月1日～2024年8月31日）

## 《東北エリアマネージャー》

ミナト電気(株) (宮城県)

代表取締役 佐々木俊輔

再エネ業界も社会情勢の影響を多大に受け、その中でいかにして戦っていくか私たちの力が試されているように思います。勉強会、イベント等を通じて各会員企業の武器となる情報、知識を共有できるように尽力して参ります。ともに力を合わせ進んでいきましょう。どうぞよろしくお願いします。



## 《中部エリアマネージャー》

G&Eかんぱにい(長野県)

代表 恩田 誠

地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）により自治体から、燃料調整費の上昇による電気代の高騰により企業や一般家庭から、太陽光発電の問い合わせが増えてきています。

実際、私の住む長野県北部でも、雪が降るからと太陽光発電に否定的だった自治体が太陽光発電を推進するようになってきました。このような問い合わせにもしっかりと対応していけるような情報を提供、交換していける開かれた地区会を開催していきます。



## 《中国・四国エリアマネージャー》

(株)エコロステーション (岡山県)

代表取締役 棕木秀典

社会情勢、エネルギー情勢が変わろうとも、協会の理念は変わることはありません。再生可能エネルギーが必要とされる今、われわれが何をすべきか考え、学んでいかなければなりません。

コロナとの闘いもありますが、勉強会・セミナーを通じて、皆様に会えることを楽しみにしています。中国・四国エリアの皆様、どうぞよろしくお願い致します。



## 《関東エリアマネージャー》

(株)RE-INNOVATIONS (東京都)

代表取締役 岸田隼人

自家消費時代の本格化により、FIT時代の投資家様向けのイニシャルコスト勝負の時代から、さまざまな分野の事業者様へ向けて、LCOE (Levelized Cost Of Electricity) という、生涯発電コストが重要な時代となりました。つまり「kW単価勝負」の時代から「kWh単価勝負」に変わりました。

われわれ、再エネ業界をリードするプロの企業として、いち早くマインドチェンジをして、トータルでよりよいご提案をすることで健全な再エネ普及促進を進めてまいりましょう。



## 《近畿・北陸エリアマネージャー》

(株)ヨネカワ (奈良県)

統括部長 米川昇

FIT開始から11年、太陽光発電所はパワコンを始めとする取替・修繕が増えてきました。リパワリングやO&Mを通じ、稼げるメンテナンスを進めていきます。

また、法人、個人に対する自家消費提案のセミナー勉強会を企画していきます。フレキシブルにニーズに合わせ、会員皆様の発展・成長に寄与していく所存です。



## 《九州エリアマネージャー》

原建設建材(株) (福岡県)

取締役 原 真人

昨年より、「電力」に対して非常に関心が高まってきております。電気代の高騰は、私達にとって飛躍のチャンスだと思っております。

コロナ禍、戦争、円安問題などさまざまな逆風も多くありますが、楽しくともに成長ができる環境づくりを心掛け、皆様とともに成長させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



## 地区会レポート

名古屋編 (2022年12月14日)

### 「協力団体による、自治体との連携についての事例発表」

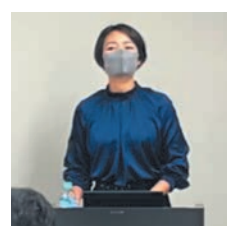
—中部地区会—

中部地区会を名古屋市会場にてリアル開催いたしました。恩田エリアマネージャーの開会挨拶に続き、協力団体の関係説明と協力団体である（一社）中部ソーラーシェアリングやろまい会様が紹介されました。



恩田エリアマネージャー開会挨拶

代表理事 北井久美恵氏ご講演



北井代表理事より、（一社）中部ソーラーシェアリングやろまい会様の設立趣旨と活動についてご説明があり、自治体との連携についての苦労話がありました。

『ソーラーシェアリングを始めたのは、次世代の子供達へ豊かな農地と自然エネルギーの



ある社会を残したいその思いからですが、はじめの一步がわからない。相談する人もいない。私たちだからできることをやろうという思いで始めました。まずは、磐田市へ訪ねましたが、訪問先もわからず自治体の特性と体制を知らず、現状の把握をしていなかったため失敗しました。その後、大概事務局長に相談した所、浜松市と協会がつながりがあると聞き、浜松市へ大概事務局長と訪問しました。浜松市へは「求められている情報を提供。困っていることを探る。県、周辺の市町村とのパイプ役になること」で、浜松市共催でソーラーシェアリングセミナーを開くことができました。私たちが目指すものは、農業従事者に支持される営農型太陽光発電事業を2030年までに5GW導入し農業所得を向上させ、若手農業生産者を増やすことです。ゼロカーボンシティ達成に向けて、ソーラーシェアリングが大きく普及し、中部地方の「地域循環型エネルギーシステムの構築」により災害に強い街を作っていきたい』

続いて同会の専務理事 松原俊介氏よりお話がありました。

『豊田市と太陽光発電のかかわりは、卒FITの相談会でした。その後は、おいでんエネルギー(株)(新



同会の専務理事 松原俊介氏



電力)を経営し、地域に根差した活動をしたいと、環境学習施設エコットで「牛乳パックでソーラーハウスを作ろう!」という講座させて貰いました。もうかれこれ5年前から同じ企画でやっていますが、内容は少しずつ進化しています。最初の20分くらいは、楽しく環境やエネルギーについて皆で勉強し、そのあとはそれぞれのオリジナルなソーラーハウスを作ります。皆に喜んでもらえる限り続けていきたいです。また、ウディールー豊田様とのコラボレーションで豊田市の間伐材をふんだんに活用したオフグリッド(自立型電源装置)でテレワークができる「オフグリッドワークプレイス」が完成しました。このような市とのつながりを持ちながら、再生可能エネルギーによる農業振興を目指す〜ソーラーシェアリングセミナーを開催いたしました。豊田市の脱炭素、カーボンニュートラルに向けて益々注目を集める太陽光発電ですが、山林を切り開いて開発していくのではなく、地域と共生できる再生可能エネルギーを目指して地域に住んでいる私たちが自分事としてどうしていくべきなのかななどを学べるいい機会になりました。農業従事者はもちろん自治体関係者、金融機関等幅広く多くの方にご参加いただきました』

さらに同会理事吉田豊氏よりお話がありました。

『ソーラーシェアリングを始めたのは、千葉県長の島杉さんが、始めたソーラーシェアリング協会でした。豊橋市に行っ



理事 吉田 豊氏



て挨拶をしようと名刺を出したら、別の方に後から名刺を覗かれ、「ソーラーシェアリングは、やらないよ」といきなり断られた。そのような状況をひとつひとつ改善しながら進めています。今年ようやく豊橋市でもソーラーシェアリングセミナーを開催することができ、一歩進んだようですがまだまだこれからになります』